

日本
共産党

八幡市議会 報告ニュース

連絡先

山本邦夫市議	982・8844
巖博市議	982・9663
亀田優子市議	982・1277
中村正公市議	983・8312
澤村純子市議	983・6275

2019年10月27日 No.685 日本共産党八幡市議会議員団(983)2005

◇市議会メール jcp-ywta@am.wakwak.com ◇ホームページ⇒ [JCP八幡市議会](#) で検索

2018年度 八幡市決算審査



一般会計、後期高齢者 水道事業 日本共産党 3議案に反対 平和、くらし守り、市民の声に耳傾ける市政を

八幡市議会は10月15日に本会議を開き、2018年度(平成30年度)の一般会計含め8つの決算について採決しました。日本共産党は、8つの決算のうち一般会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計の3つに反対しました。

山本邦夫議員が本会議で反対討論をしました。その中で、①八幡市が平和首長会議に参加しないなど、核兵器廃絶に向けた消極姿勢、②水道料金の値上げや高齢者の医療など暮らしの問題での市民負担の増加、③まちづくりの点で、去年の地震や台風災害において、被災された住宅の復旧に対する支援が不十分なこと、消費税増税にあたって市内中小

企業への支援がきわめて不十分であること、④不公正な同和事業を温存していること一の4点を指摘しました。

プラごみ毎週回収へ前進の兆し

八幡市ではプラスチックごみは隔週回収ですが、決算審議で、府南部3市3町で運営する城南衛生管理組合の八幡市沢工場にあるゴミ中継施設の更新に伴い、プラスチック製容器包装も対象にする方向が確認できました。プラごみの毎週回収への見通しが見えてきましたが、中継施設の更新には数年かかると予想されます。そのため、決算委員会で、ゴミ収集車の増車や委託を含め、暫定的に毎週回収に踏み切るよう求めました。

男山発電施設整備めぐり

八幡市の八幡大谷から橋本東山本にかけての男山頂上付近で太陽光パネルの設置を進める事業者は、元暴力団組長が実質経営者を務めています。京都民報の取材で、愛媛県宇和島市でも同様の開発行為をし、事業に行き詰まると他社に転売していたことが明らかになりました。

禁止条例 2月実施をめざす

地元の区・自治会、市民団体が反対運動を繰り広げ、市も大型太陽光発電施設を禁止する条例案を12月議会に提出。実施時期を4月から2月に繰り上げる意向です。



京都民報がスクープ

八幡の開発事業者と同じ会社が、愛媛県宇和島市で太陽光パネル工事に着手。無許可掘削を放置したまま他の事業者に転売。

愛媛でも「里道」無許可掘削
住民とトラブル、改善せず転売

愛媛県宇和島市で、太陽光パネル工事に着手した事業者が、無許可掘削を放置したまま他の事業者に転売したことが、京都民報の取材で明らかになった。同市では、里道(集約型)の無許可掘削が問題となっており、住民とトラブルが続いている。市は、改善を求めたが、事業者は改善せず、転売したことが明らかになった。